

2020年5月29日(金)

愛知県建設局河川課計画グループ

担当 村上・小森

内線 2729・2731

ダイヤルイン 052-954-6555

愛知県建設局下水道課公共下水道グループ

担当 藤城・落合

内線 2684・2686

ダイヤルイン 052-954-6535

新川流域水害対策計画の進捗状況等について (第37回新川流域総合治水対策協議会の結果報告)

愛知県では、2007年10月に特定都市河川浸水被害対策法に基づく新川流域水害対策計画を県と市町が共同で策定し、それぞれの管理者が連携し、河川整備や下水道整備等を着実に実施して、流域の治水安全度の向上に取り組んでいるところです。

この度、総合治水対策協議会において、2019年度末における計画の進捗状況を確認しました。また、2020年度の総合治水PR活動について合意しましたので、下記のとおり、お知らせします。

記

1 新川流域水害対策計画の進捗状況について

流域水害対策計画に位置付けられた様々な対策の実施状況や進捗状況など、協議会においてモニタリングした内容についてお知らせします。

2 総合治水PR活動について

総合治水対策の取組みを、より多くの流域住民の皆様にご理解、ご協力いただけるよう、流域内のショッピングセンター等において啓発活動を実施します。

なお、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、実施を検討します。

新川流域総合治水対策協議会(会長 愛知県建設局長)

【構成員】国土交通省、愛知県、名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、
稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町

新川流域水害対策計画の進捗状況等について

(第37回新川流域総合治水対策協議会の結果報告)

1 新川流域水害対策計画の進捗状況について

『新川流域水害対策計画』

河川管理者・下水道管理者及び地方公共団体が共同で浸水被害防止を図るための計画であり、新川流域では2007年10月に策定し、効率的な浸水被害対策に取り組んでいます。



位置図

<2019年度の取組状況>

新川流域水害対策計画では、①河川の整備、②下水道の整備、③その他流域の整備を連携して実施することで、概ね30年間で、年超過確率1/10(63mm/h)の降雨に対し、著しい浸水被害(住宅床上浸水被害)を解消することを目的としています。

2019年度は以下のとおり、各種整備に取り組んでおり、新川流域の浸水被害軽減に寄与しています。詳細については、「参考資料」をご覧ください。

①河川の整備

- ・ 河道整備
あいせ やくしがわ
(合瀬川、薬師川など)
- ・ 橋梁改築
ごしょうがわ あおきがわ
(五条川、青木川)

ア.河道整備(薬師川)



②下水道の整備

- ・ 中小田井ポンプ所の増設
なかおたい (名古屋市中区)
- ・ 向町ポンプ場の新設(小牧市)



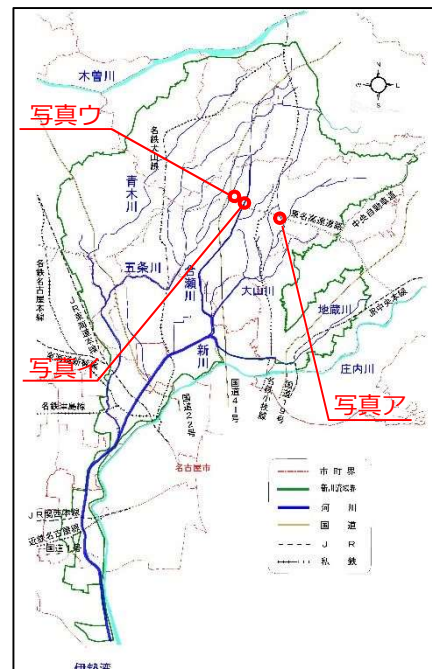
イ.向町ポンプ場

③その他流域の整備

- ・ 貯留施設の整備
(小牧市、大口町など)



ウ.貯留施設(小牧市北部給食センター)



新川流域図

今後も継続して各整備内容のモニタリングを実施しながら、事業の推進に取り組んでまいります。

2 総合治水 PR 活動について

本協議会では、流域住民の皆様の治水に対するご理解とご協力が重要であることから、1991年度に毎年5月15日から21日の間を「総合治水推進週間」に制定し、総合治水対策の取組を幅広く知ってもらうため、各種PR活動を実施しています。

2020年度に実施を予定するPR活動を以下のとおり、紹介します。

(なお、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、実施を検討いたします。)

PR イベントの開催

流域内のショッピングセンターを中心に、パネルの展示やDVDの上映等により、総合治水対策の取組や防災に関する情報などを紹介します。また、流域内の市町役場、建設事務所においても、持ち回りでパネル等を展示します。

<参考 2019年度に実施したPR活動>



テラスウォーカー宮店



岩倉市民ふれ愛まつり



県庁公開イベント

ホームページによる PR

協議会で作成するホームページにおいて、県や各市町、民間で行われている総合治水対策を紹介するなど、流域住民の皆様に向けて情報を発信します。

<HPアドレス>

<http://www.sougo-chisui.jp/>

<QRコード>



新川流域総合治水対策協議会
境川流域総合治水対策協議会

新川流域・境川流域の 総合治水対策

治水施設の整備と、流域において適正な保水・治水機能の
維持・確保が図れる土地利用や施設の整備を推進しています

総合治水の概要・必要性	新川流域の治水	境川流域の治水
新着情報 H27.5.14 イベント情報を更新しました。 ▶ 総合治水とは？ どうして総合治水対策が必要になってくるのかを紹​​介しています。 ▶ 総合治水を知っていただくために 総合治水対策協議会が行っている活動を紹介しています。 イベント情報 パンフレット	Topics 新川流域は、平成18年1月1日より特定都区市町村川流水補償対策法が適用され、開発などを行う場合は、許可が必要ですが、 必要です。 治水について ▶ 流域の概要 新川流域の概要を紹介いたします。 ▶ お問い合わせ 最新情報を掲載しています。 ▶ 総合治水対策協議会 水害の危険性を軽減する総合治水を推進するための協議会の組織活動です。 ▶ 特定都区市町村川流水補償対策法	Topics 境川、逢瀬川、狭瀬川の流域は、平成24年4月1日より「特定都区市町村川流水補償対策法」が適用され、開発などを行う場合は、許可が必要ですが、 必要です。 H28.3.4 任全国認定を指定しました。 治水について ▶ 流域の概要 境川流域の概要を紹介いたします。 ▶ お問い合わせ 最新情報を掲載しています。 ▶ 総合治水対策協議会 水害の危険性を軽減する総合治水を推進するための協議会の組織活動です。

参考資料

新川流域水害対策計画 モニタリング資料

令和2年5月

令和元年度 流域水害対策計画のモニタリングについて

1 モニタリングについて

【背景】

○特定都市河川浸水被害対策法の適用

平成12年9月の東海豪雨で甚大な浸水被害を受け、「河川激甚災害対策特別緊急事業」や「流域対策緊急5カ年計画」の実施により、新川本川の治水安全度は一定の水準に達したものの、流域全体としては、十分な安全度に達しているとはいえない状況であった。そこで、新川流域では、特定都市河川浸水被害対策法の適用を図り、平成19年10月には河川管理者、下水道管理者及び流域内の地方公共団体が共同で「新川流域水害対策計画」を策定し、流域での連携を強化して、効率的な浸水被害対策に取り組んでいる。また、流域の浸水被害の発生状況などを踏まえ、さらなる治水対策を推進するため、流域対策を強化するなど平成26年10月に計画の変更を行った。

○流域水害対策計画の目的

流域水害対策計画は、河川の整備、下水道の整備、その他流域の整備が連携して、概ね30年間で、年超過確率1/10の降雨に対し、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）を解消することを目的とする。



○モニタリング結果のとりまとめ

新川流域水害対策計画では、各施策の進捗状況などを把握し、関連事業間の連携やその実効性の確認のため協議会において、モニタリングを行い公表することとしている。

今回は令和元年度分のモニタリング結果をとりまとめた。集計結果については参考資料に添付しているので、ご確認ください。

2 令和元年度の出水状況等

① 令和元年度の出水状況まとめ

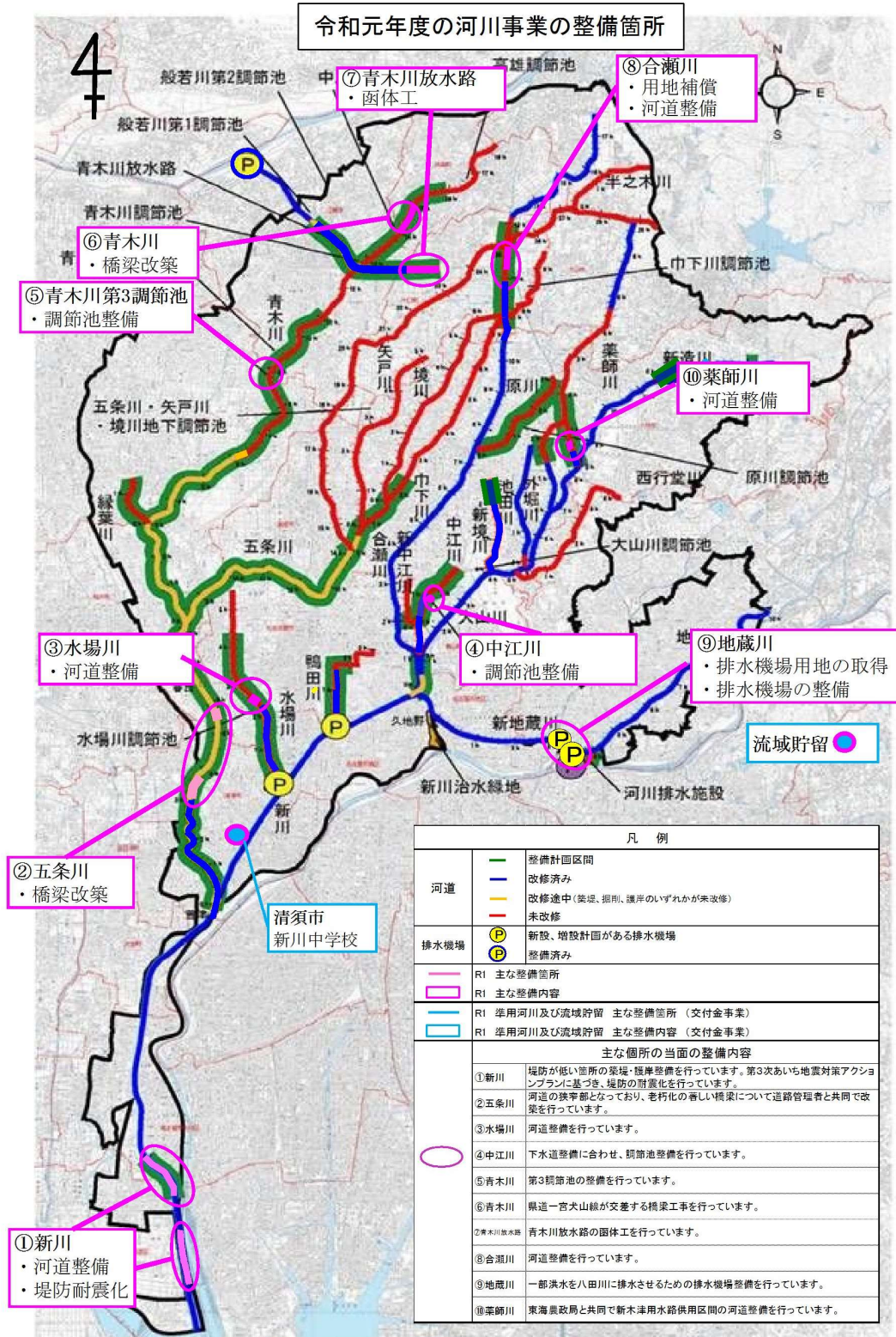
令和元年度は、10月12日に上陸した台風第19号の影響で、静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、10日からの総雨量は神奈川県箱根町で1000ミリに達し、東日本を中心に17地点で500ミリを超え、各地で甚大な被害が発生したが、新川流域においては比較的降雨の少ない1年であった。

② 新川流域における代表的な降雨

年月日	雨量 (観測所名)	流域市町における被害状況
R1.7.18	60分最大雨量 53mm (犬山雨量観測所)	床上浸水：0件 床下浸水：8件

3 各事業の進捗状況

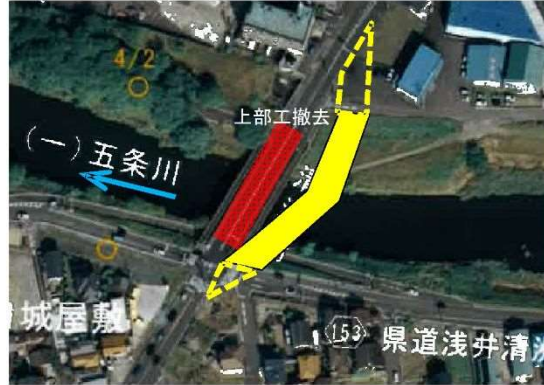
①河川事業



令和元年度の河川事業の実施状況



①新川：堤防耐震化



②五条川：清洲橋改築



③水場川：河道整備（西流橋付近）



④中江川：調節池整備（完成）

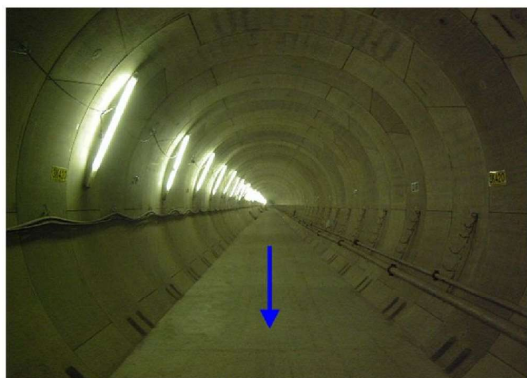


⑤青木川：第3号調節池整備



⑥青木川：橋梁改築

令和元年度の河川事業の実施状況



⑦青木川：放水路施工中



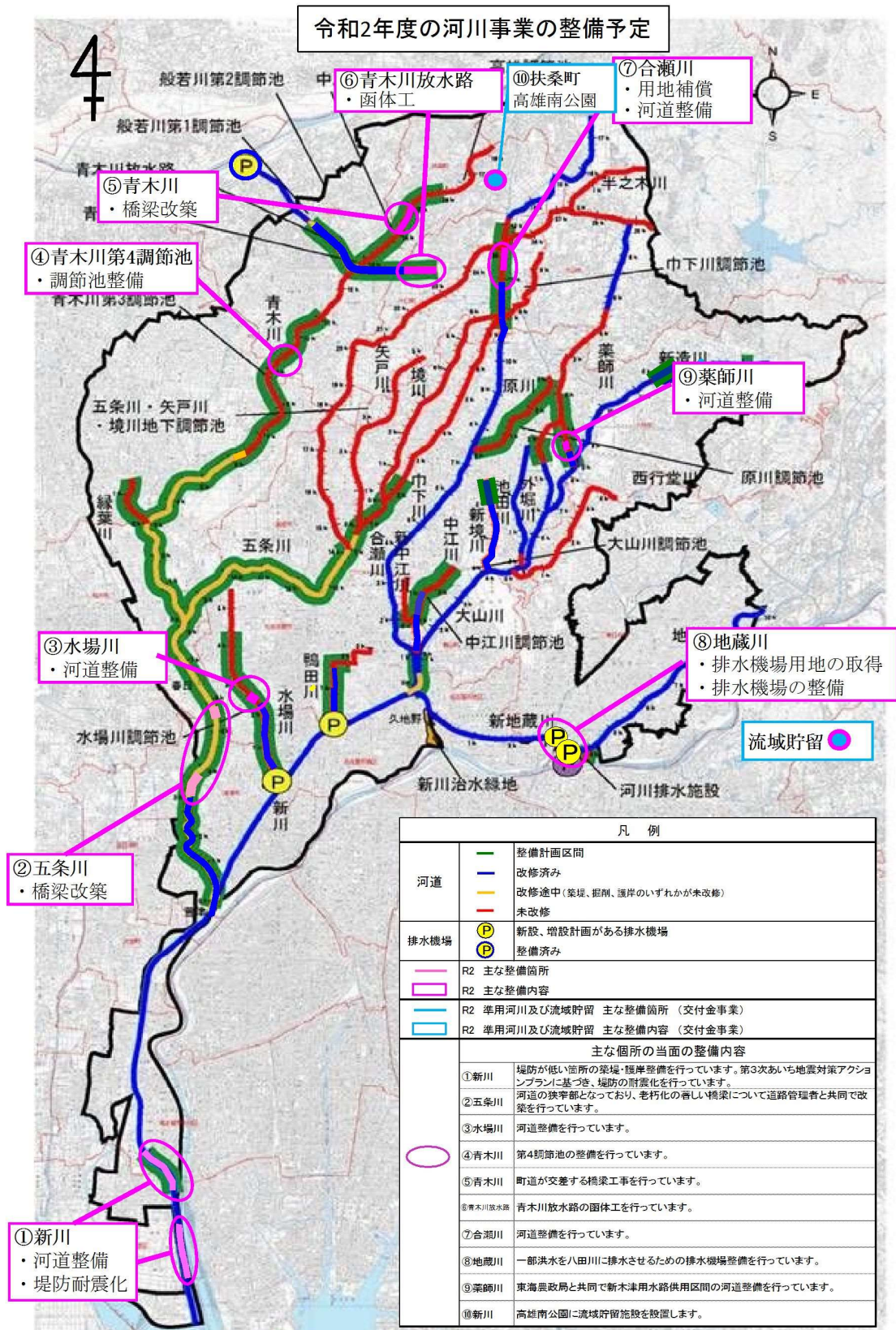
⑧合瀬川：用地補償及び河道整備



⑨地蔵川：排水機場予定地（用地補償及び工事）



⑩薬師川：河道整備

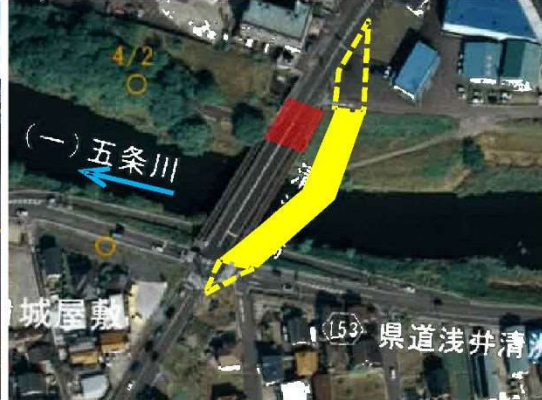


令和2年度の河川事業の整備予定箇所

令和2年度の河川事業の整備予定箇所



①新川：堤防耐震化



②五条川：清洲橋改築



③水場川：河道整備（西流橋付近）



④青木川：第4号調節池整備



⑤青木川：河道整備（町道交差部付近）



⑥青木川放水路施工中

令和2年度の河川事業の整備予定箇所



⑦合瀬川：用地補償及び河道整備



⑧地藏川：排水機場（用地補償及び工事）



⑨薬師川：河道整備



⑩新川(高雄南公園)：流域貯留施設工

② 下水道事業

下水道事業の整備状況（進捗状況とR2年度計画）



◇特定都市下水道の整備状況※1

	雨水整備区域※2				下水道雨水調整池※3				下水道雨水ポンプ場※3			
	整備 予定面積 (ha)	R1年度 整備面積 (ha)	R1年度末 整備面積 (ha)	整備 進捗率 (%)	整備 予定容量 (千m ³)	R1年度 整備容量 (千m ³)	R1年度末 整備容量 (千m ³)	整備 進捗率 (%)	整備予定 排水能力 (m ³ /s)	R1年度 整備排水能力 (m ³ /s)	R1年度末 整備排水能力 (m ³ /s)	整備 進捗率 (%)
	A1	-	B1	B1/A1	A2	-	B2	B2/A2	A3	-	B3	B3/A3
名古屋市	2,149	0	325	15.1%	17.6	0	18.1	102.8%	76.91	0.70	6.10	7.9%
一宮市	406	0	0	0.0%	1.6	0	0	0.0%	9.90	0	0	0.0%
春日井市	57	0	0	0.0%	14.1	0	0	0.0%	0.94	0	0	0.0%
犬山市	291	61	84	28.9%	13.4	0	1.6	11.9%	-	-	-	-
江南市	166	0	0	0.0%	15.0	0	0	0.0%	-	-	-	-
小牧市	368	0	29	7.9%	54.9	0	41.5	75.6%	1.58	0.63	1.58	100.0%
稲沢市	20	0	20	100.0%	5.1	0	5.1	100.0%	-	-	-	-
岩倉市	274	0	41	15.0%	17.3	0	3.5	20.2%	13.25	0	0	0.0%
清須市(旧春日町含む)	1,075	0	3	0.3%	28.0	0	9.0	32.1%	35.11	0	13.45	38.3%
北名古屋市	469	1	57	12.2%	32.7	0	0	0.0%	9.98	0	7.42	74.3%
あま市(旧基目寺町)	165	0	0	0.0%	-	-	-	-	3.25	0	0	0.0%
豊山町	213	0	71	33.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
大口町	213	0	0	0.0%	1.0	0	1.0	100.0%	-	-	-	-
扶桑町	118	0	0	0.0%	1.4	0	0	0.0%	-	-	-	-
大治町	48	0	0	0.0%	-	-	-	-	2.50	0	0.30	12.0%
	6,032	62	630	10.4%	202.1	0	79.8	39.5%	153.42	1.33	28.85	18.8%

※1「雨水整備区域」、「下水道雨水調整池」、「下水道雨水ポンプ場」の各整備予定量は、流域水害対策計画に定めた年度から概ね30年間の整備予定量です。

※2雨水整備区域の「整備面積」は、下水道(公共下水道や都市下水路)や市町が管理する法定外水路及び農業用排水路などの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を向上させた区域面積を示します。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、雨水調整池や雨水ポンプ場など流末の整備状況により異なります。

※3下水道雨水調整池の「整備容量」及び下水道雨水ポンプ場の「整備排水能力」は施設それ自体の整備量を表しています。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、施設が受け持つ区域内の管路の整備状況により異なります。

○準用河川等の整備

市町が管理する準用河川等について、本川の整備と連携して整備を進めている。



準用河川千間堀川改修（一宮市）



準用河川新川改修（小牧市）

4 雨水貯留浸透施設の整備状況

①地方公共団体等が実施した雨水貯留浸透対策の位置及び容量等
流域市町が計画策定以降に実施した貯留施設整備の進捗状況。

	流域水害対策計画											
	計画容量 (m ³) A	貯留施設実績				浸透施設実績						進捗率 (容量ベース) D/A
		計画策定(H19) からH30年度迄 対策実施容量 B	前年度(R1) 対策実施容量 C	H19~総対策量 合計 D=B+C	透水性舗装(m ²)		透水トレンチ(m)		浸透樹(個)			
					R1年度 整備面積	R1年度末 整備面積	R1年度 整備延長	R1年度末 整備延長	R1年度 整備数	R1年度末 整備数		
合計	252,200	175,498	586	176,084	4,211	146,942	44	2,315	14	870	69.8%	
名古屋市	5,000	5,282	0	5,282	2,487	40,014	0	1,684	0	552	105.6%	
一宮市	71,000	54,386	0	54,386	0	30,829	0	0	0	203	76.6%	
春日井市	46,300	47,158	0	47,158	0	5,693	0	0	0	0	101.9%	
大山市	0	0	0	0	0	630	0	252	0	15	-	
江南市	21,700	5,718	0	5,718	213	5,501	44	44	6	8	26.4%	
小牧市	19,500	12,325	436	12,761	1,511	37,590	0	115	0	21	65.4%	
稲沢市	3,000	0	0	0	0	4,485	0	0	0	0	0.0%	
岩倉市	0	0	0	0	0	3,207	0	0	0	0	-	
清須市(旧春日町含む)	20,300	17,830	0	17,830	0	7,011	0	16	0	11	87.8%	
北名古屋市	40,000	14,748	0	14,748	0	5,835	0	0	8	51	36.9%	
あま市(旧甚目寺町)	200	163	0	163	0	0	0	0	0	0	81.5%	
豊山町	2,200	2,200	0	2,200	0	0	0	0	0	0	100.0%	
大口町	5,000	1,250	150	1,400	0	1,983	0	0	0	0	28.0%	
扶桑町	18,000	14,438	0	14,438	0	4,164	0	204	0	9	80.2%	
大治町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

令和元年度整備が完了した施設の例



新宮雨水貯留施設（大口町） 左：施工状況 右：完了後



北部給食センター貯留施設（小牧市）



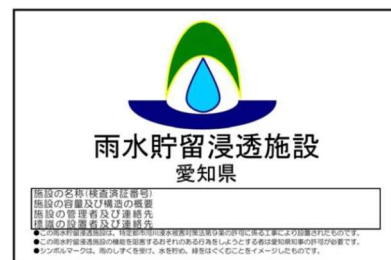
透水性舗装（名古屋市）

②雨水浸透阻害行為の対策工事の中で設置された雨水貯留浸透施設の位置及び容量等

特定都市河川浸水被害対策法第9条、第14条により、流域内で行う500m²以上の開発等（雨水浸透阻害行為＝雨水がしみこみにくくなる行為）には、許可等が必要。許可等の対象となり、雨水流出抑制対策（貯留施設、透水性舗装、浸透マス等）が行われた開発等は下表の通り。

【新川流域】

	令和元年度					平成18年4月1日～令和2年3月31日までの累計				
	許可件数 (9条・14条)	対策施設				許可件数 (9条・14条)	対策施設			
	件数	貯留 (m ³)	透水性 舗装 (m ²)	浸透 トレンチ (m)	浸透樹 (個)	件数	貯留 (m ³)	透水性 舗装 (m ²)	浸透 トレンチ (m)	浸透樹 (個)
名古屋市	26	471	4,825	127	0	341	8,076	61,634	4,226	482
一宮市	22	2,477	16,955	54	6	337	17,208	208,397	2,930	305
春日井市	11	14,980	15,099	857	81	187	43,298	139,759	4,647	414
小牧市	66	8,710	56,883	333	0	683	71,934	373,088	4,181	496
清須市	13	1,927	8,479	16	5	204	14,071	66,556	1,088	160
北名古屋市	37	1,605	28,497	296	8	500	57,296	189,267	3,322	657
豊山町	10	684	4,368	101	0	180	6,129	66,581	1,444	177
犬山市	13	636	3,402	135	7	197	8,506	24,154	1,876	271
江南市	20	1,268	6,222	85	0	267	8,806	123,868	2,384	474
稲沢市	9	832	12,130	57	0	67	3,131	52,686	118	101
岩倉市	13	503	8,479	16	5	214	10,706	86,836	1,509	253
大口町	15	7,927	2,586	0	0	191	34,192	124,682	1,330	234
扶桑町	9	386	3,890	30	1	162	4,592	61,633	1,781	145
あま市	5	14	354	42	5	44	853	9,292	258	51
大治町	0	0	0	0	0	16	284	1,333	187	0
合計	269	42,419	172,037	2,148	113	3,590	289,084	1,589,632	31,281	4,215



これらの開発等には、この標識看板が設置されている。

◆雨水浸透阻害行為面積別件数及び面積(9条・14条)

雨水浸透阻害行為面積	H17年度		H18年度		H19年度		H20年度		H21年度		H22年度		H23年度	
	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)
500m ² ～1,000m ² 未満	29	21,861	152	113,076	177	135,101	184	137,811	108	81,959	116	86,956	133	83,206
1,000m ² 以上	20	64,603	135	327,733	145	490,919	121	335,834	57	212,343	69	151,408	66	165,493
合計	49	86,464	287	440,809	322	626,020	305	473,645	165	294,302	185	238,364	199	248,698

雨水浸透阻害行為面積	H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)
500m ² ～1,000m ² 未満	118	89,097	134	99,114	168	123,851	159	113,990	182	133,931	158	112,733	167	113,525
1,000m ² 以上	69	236,645	88	206,833	112	280,813	112	299,404	116	319,311	106	577,368	120	654,552
合計	187	325,742	222	305,947	280	404,663	271	413,394	298	453,243	264	690,101	287	768,077

雨水浸透阻害行為面積	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		合計	
	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)
500m ² ～1,000m ² 未満	146	108,674											2,131	1,554,884
1,000m ² 以上	123	693,701											1,459	5,016,961
合計	269	802,374											3,590	6,571,845

◆許可件数内訳(9条・14条及び16条(変更))

9条	14条	小計	16条
3,487	103	3,590	1003

※許可件数、対策施設及び阻害行為面積については、令和2年3月31日現在における集計値を示しており、法第16条、第18条に基づく変更ならびに廃止があった場合は、変更後の値としております。

③開発に伴い地方公共団体の条例・要綱に基づく指導等により設置された雨水貯留浸透施設の位置及び容量等

	前年度(R1年度)実績				計画策定(H19)からR1年度までの実績			
	貯留施設 (m3)	浸透施設			貯留施設 (m3)	浸透施設		
		透水性舗装 (㎡)	透水トレンチ (m)	浸透枡 (個)		透水性舗装 (㎡)	透水トレンチ (m)	浸透枡 (個)
合計	13,100	6,458	224	21	71,259	225,159	12,812	2,233
名古屋市	58	0	0	0	159	1,716	55	0
一宮市	0	0	0	0	0	4,295	39	4
春日井市	7,214	1,699	0	0	28,460	110,690	4,679	724
大山市	0	0	0	0	0	0	0	0
江南市	5,803	776	161	21	39,425	50,775	5,145	1,281
小牧市	0	0	0	0	0	1,736	0	66
稲沢市	0	0	0	0	0	0	0	0
岩倉市	0	108	0	0	0	454	0	0
清須市(春日町含む)	0	0	0	0	8	14,661	20	13
北名古屋市	15	3,150	0	0	1,470	20,975	253	35
あま市(旧甚目寺町)	0	0	0	0	0	0	0	0
豊山町	0	0	0	0	0	0	0	0
大口町	0	0	0	0	0	0	0	0
扶桑町	10	725	63	0	1,737	19,857	2,621	110
大治町	0	0	0	0	0	0	0	0

5 保全調整池の保全等について

●保全調整池の指定

流域内に設置されている既存の防災調整池（100m³以上）を「保全調整池」として指定し、その機能の保全に取り組んでいる。新川流域における保全調整池の合計は275件47万m³

保全調整池指定

		H19.3.9指定告示		H25.4.5指定告示		H26.3.14指定告示		H27.4.10指定告示		合計	
		件数	容量	件数	容量	件数	容量	件数	容量	件数	容量
名古屋市告示	名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一宮市告示	一宮市	-	-	5	21,430	10	10,490	-	-	15	31,920
春日井市告示	春日井市	22	5,264	7	15,023	30	52,884	3	18,832	62	92,003
愛知県告示	犬山市	12	6,518	10	48,548	6	2,798	-	-	28	57,864
	江南市	2	1,968	13	40,470	1	514	-	-	16	42,952
	小牧市	20	7,545	11	30,461	19	48,954	2	3,923	52	90,883
	稲沢市	-	-	2	1,778	-	-	-	-	2	1,778
	岩倉市	-	-	-	-	4	2,434	-	-	4	2,434
	清須市	-	-	3	2,533	10	29,682	1	709	14	32,924
	北名古屋市	5	1,303	6	16,945	4	12,350	1	215	16	30,813
	あま市	-	-	3	1,683	-	-	-	-	3	1,683
	豊山町	-	-	7	9,328	2	6,568	-	-	9	15,896
	大口町	5	1,962	7	40,499	-	-	-	-	12	42,461
	扶桑町	11	7,577	3	9,010	27	8,126	-	-	41	24,713
大治町	-	-	1	1,200	-	-	-	-	1	1,200	
合計		77	32,137	78	238,908	113	174,800	7	23,679	275	469,524

上表の内、86基、約4.0万m³は民間施設である。



保全調整池指定施設の標識

6 排水調整の実施状況

新川流域においては、平成12年9月の東海豪雨災害を契機に、現在の河川の整備水準を上回る洪水に見舞われ、河川からの越水及び破堤などによる氾濫のおそれがあるとき、外水氾濫による沿川の甚大な浸水被害の発生を回避し、人的被害の防止並びに財産及び経済的被害を軽減することを目的として、平成13年6月に新川流域総合治水対策協議会において「新川流域排水調整要綱」を制定し、運用している。

＜令和元年度の運用状況＞

令和元年度においては、排水調整は実施していない。

河川名	基準地点	発信状況（令和元年度）	
		準備水位到達情報	停止水位到達情報
新川(上流)	水場川外水位	—	—
新川(下流)	下之一色	—	—
五条川	春日	—	—

7 浸水被害拡大防止対策の状況

①防災情報の作成状況

- ・都市洪水想定区域図の指定状況

河川の氾濫により浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間等を指定している。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
新川	24時間751mm(1/1000以下)	H30.3	県河川課HP (http://www.pref.aichi.jp/kasen/) 新川流域総合治水対策協議会HP (http://www.sougo-chisui.jp/) 県河川課、関係建設事務所での縦覧
五条川下流	24時間736mm(1/1000以下)	H30.3	
五条川上流	24時間815mm(1/1000以下)	H30.3	
青木川	24時間805mm(1/1000以下)	H30.3	
大山川	24時間815mm(1/1000以下)	H30.3	
新地蔵川	24時間205mm(1/10)	H20.6	

※新地蔵川を除き、水防法による洪水浸水想定区域図を都市洪水想定区域図としている。

※合瀬川も特定都市河川に指定されているが、現況でも計画規模の降雨では河川の氾濫が発生しないことから、区域の指定はしていない。

- ・浸水予想図の状況

河川の氾濫（破堤、溢水、越水）により浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間等を公表している。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
新川流域	24時間751mm(1/1000以下)	R2.4.10	県河川課HP (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuiyoso-02.html) 県河川課、建設事務所、県民相談・情報センターでの縦覧

- ・都市浸水想定区域図の指定状況

内水氾濫により浸水が想定される区域、水深を指定している。

対象市町	降雨規模 (年超過確率)	公表日	閲覧方法
名古屋市、春日井市、岩倉市、清須市	1時間63mm (1/10)	H20.6	新川流域総合治水対策協議会HP (http://www.sougo-chisui.jp/) 各市役所、役場HP 各市役所、役場での縦覧
清須市(旧春日町)	1時間57mm (1/7)	H20.6	
一宮市、犬山市、江南市、小牧市 稲沢市、岩倉市、北名古屋市 あま市、豊山町、大口町、扶桑町	1時間52mm (1/5)	H20.6	

- ・洪水ハザードマップ作成状況

市町名	公表年月 (最新)	閲覧可能ホームページ (こちらのWebページ等で公表しています)
名古屋市	H29.8	http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/405-5-11-0-0-0-0-0-0.html
一宮市	H19.7	https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/kurashi/saigai/1010043/1031648/index.html
春日井市	H28.4	https://www.city.kasugai.lg.jp/shisei/machi.haisui/hazardmap/index.html
犬山市	H31.3	https://www.city.inuyama.aichi.jp/kurashi/bousai/1003462/1005791.html
江南市	H25.4	https://www.city.konan.lg.jp/kurashi/bousai/1004370/1006291/1004402.html
小牧市	H31.2	http://www.city.komaki.aichi.jp/admin/shimin/life/anzenshin/02/6/20563.html
稲沢市	H21.4	http://www.city.inazawa.aichi.jp/kurashi_tetsuzuki/bousai/ooame/hazardmap/index.htm
岩倉市	H23.4	http://www.city.iwakura.aichi.jp/0000000273.html
清須市	H24.4	https://www.city.kiyosu.aichi.jp/bosai_anshin/saigai_joho/suigai_guidebook.html
北名古屋市	H27.3	https://www.kitanagoya.jp/map4.php
あま市	H24.3	https://www.city.ama.aichi.jp/kurashi/safety/bousai/1002250.html
豊山町	H15.8	http://www.town.toyoyama.lg.jp/1kurasi/21bousai/
大口町	H26.3	https://www.town.oguchi.aichi.jp/2402.htm
扶桑町	H23.3	https://www.town.fuso.lg.jp/bosai/bosai/hazardmap/index.html
大治町	H22.4	https://www.town.oharu.aichi.jp/bousai/pdf/hazardmap.pdf

※国土交通省ハザードマップポータルサイトからもリンクされている (<http://disaportal.gsi.go.jp/>)

②洪水予報河川、水位周知河川の状況

- ・洪水予報河川：対象河川において、県と気象庁が共同で情報を発表している。

河川名	基準地点	指定日	発表状況（令和元年度）				
			洪水注意報		洪水警報		
			氾濫注意情報	解除	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
新川 (上流)	水場川 外水位	H14.6.1	—	—	—	—	—

- ・水位周知河川：対象河川において、県が氾濫危険水位到達情報及び避難判断水位到達情報を発表している。

河川名	基準地点	区間	指定日	発表状況（令和元年度）	
				氾濫危険水位到達情報	避難判断水位到達情報
五条川	春日	新川 ～青木川	H19.6.1	—	—
五条川 (上流)	曾野	青木川 ～巾下川	H21.6.1	R1.7.18. 18:50 R1.10.25 10:50	—
青木川	赤池	五条川 ～般若川	H21.6.1	—	—

上記の情報は、関係する市町が避難勧告、避難指示等を発令する判断の参考となる。

③危機管理型水位計の設置状況（令和2年4月1日時点）

愛知県では、平成29年度から「危機管理型水位計」の設置を進めており、新川水系で9河川13箇所、県全体では104箇所に設置している。

また、令和元年度からは「簡易型河川監視カメラ」の設置も進めており、新川水系で3河川4箇所、県全体で19箇所に設置している。

④その他のソフト対策

愛知県では、水害に備える取り組みを支援している（みずから守るプログラム）。

また、平成30年度からは、「みずから守るプログラム」の一環として、「地域の防災リーダーの育成」を進めています。

関係市町での実施状況は下表の通り。

支援事業名	令和元年度実施	平成23年度～ 令和元年度実施
手づくりハザードマップ作成	3件 ※清須市 ※大治町	名古屋市15件 小牧市2件 清須市5件 北名古屋市6件 大治町3件
大雨行動訓練	3件 ※清須市	名古屋市9件 小牧市2件 清須市4件 北名古屋市5件 大治町1件
地域の防災リーダーの育成	0回	春日井市1件 大口町1件

8 新川流域における連携事業と事業進捗について

○連携事業について

これまで県と市町で「新川流域水害対策計画」を策定し、流域全体で浸水被害を軽減することを目標に浸水被害対策に取り組んできた。しかしながら、浸水被害の軽減は流域全体の課題であると同時に、ゲリラ豪雨の発生などによる局所的な浸水被害の発生に対する課題も明らかになってきている。

連携事業については、浸水被害の発生状況を踏まえ流域内の「点」に着目し、河川整備、下水道整備、貯留施設整備などの実施時期を調整するとともに、先行整備されている施設（ストック）を有効に活用するなどして、より効果的に浸水被害の軽減に取り組むものです。

新川流域で
13件の連携事業
に取り組んでいる

